

指導と評価の年間計画（地理総合）

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科目	地理総合	学年	3年	指導クラス	3年1組・2組・3組	指導者名
単位数	2	使用教科書	地理総合（美教出版）		副教材・問題集等	地理総合 演習ノート（美教出版）

1. 科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組み態度 c
地理に関わる諸事象について、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	オリエンテーション		1	・地理総合の学習における心構えなどについて理解させる。	・行動観察 ・プリント			○
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界								
5	1 球面と平面 2 緯度と経度 3 日常生活のなかの地図 4 国家の領域 5 日本の位置と領域 6 国家間の結び付き 7 モノ・人・情報のグローバル化 8 世界の交通、物流と日本 9 観光のグローバル化		5 7	・様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付き、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解させる。 ・現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けさせる。 ・世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどについて多面的・多角的に考察させ、表現させる。 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	○
前期中間考査								
6	第2編 国際理解と国際協力		1			○	○	
7	【自然環境と生活文化】 ① 地形と生活文化 ② 気候と生活文化		8	・山地・平野・海岸における地形の特徴と生活文化との関係について理解させる。 ・様々な気候に人々はどうのように対応・工夫しながら暮らしているのかについて多面的・多角的に考察させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	
8	【産業の進展によって変化する生活文化】 急速な経済発展で揺れ動く人々の暮らし（東アジア）		4	・人々の生活文化を支える産業や貿易の発展の過程と格差について考える。 ・経済発展や社会体制の変化、グローバル化の進展が人々の生活文化に与えた影響について多面的・多角的に考察させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	
9	【宗教に基づいた生活文化】 イスラームと結び付く生活文化（西アジア・北アフリカ）		4	・イスラームと関係の深い考え方や生活習慣について理解させる。 ・イスラームが西アジアを中心に広まった理由について理解させる。 ・イスラームの考え方や習慣と人々の生活文化との関係について多面的・多角的に考察させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	
9	【国家・民族・言語の結び付きと生活文化】 国家の統合と生活文化（ヨーロッパ）		4	・ヨーロッパの地域統合の歴史と地域の変化について理解させる。 ・地域統合によって生じた新たな課題や域内の産業の変化について多面的・多角的に考察させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	
9	【移民とともに形成された生活文化】 移民国家の形成と生活文化（北アメリカ）		3	・移民国家がどのように形成されてきたかについて理解させる。 ・農業や工業などの面で移民の役割の違いについて理解させる。 ・アメリカへの移民に関わる様々な課題について多面的・多角的に考察し、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	○
前期末考査								
10	【主題学習】 世界の食文化と人々の生活		8	・世界各地の食文化について調べさせ、気候や地形、宗教の違いなどと関連・比較させるなかで、考察させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート		○	○
11	第2章 地球的課題と国際協力 1 人口問題の展開と対策 2 アンバランスな人口分布 3 食糧問題の要因と解決に向けた課題 4 食糧問題への取り組み 5 都市・居住問題 6 エネルギー資源の開発と限界 7 新たなエネルギー資源への取り組み 8 地球環境問題：地球温暖化 9 さまざまな場所で発生する地球環境問題 10 地球的課題の解決に向けた国際協力		7	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大層理解させる。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解させる。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	○
後期中間考査								
12	第3編 持続可能な地域づくりと私たち					○	○	
1	第1章 自然災害と防災 1 日本の自然環境 2 地震・津波 3 地震・津波への対策 4 火山災害と対策 5 風水害 6 風水害への対策 7 雪害・高温と対策 8 防災・減災への取り組み		9	・各地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解させる。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。 ・本校周辺で過去に発生した自然災害について調べさせ、自然災害への備えや対応などについて多面的・多角的に考察させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	○
2	第2章 地域調査 1 課題の発見と事前調査 2 現地調査 3 調査結果の整理 4 調査結果の分析と考察 5 発表と報告		6	・地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解させる。 ・土岐市の伝統産業である陶磁器産業に関して生徒が課題を設定し、その解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想させ、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・manabaレポート	○	○	○
学年末考査								
			1			○	○	
			70					